

今年も工場見学に来ていただきました！

—高松市立弦打小学校の第4学年の皆様—

10月31日（月）、高松市立弦打小学校、第4学年85名の皆様が国分寺工場に見学に来られました。

ペットボトルの中の飲み残しを手作業で出していく様子やスチール缶を磁石を使って選別していく様子などを見ていただきました。



▲ 選別機の中を眺める様子

工場内を見ていただいた後の説明時間に、「アルミ缶を熱処理する過程で、焦げてしまってリサイクルできないことがあるのですが、その理由は何だと思いますか？」という質問をしました。この質問の正解はなかなか出ることはないのですが、「缶の中にタバコの吸い殻が入っていたから。」と見事に一人目で正解を答えてくれました。さすが、事前にリサイクルに関する勉強をされていただけあります。

質問の時間には、

「容器包装プラスチックを溜めているピットの深さは何メートルですか？」や「1ヶ月のうち、水曜日（容器包装プラスチックの収集日）以外で出るゴミの量はどれくらいですか？」など、具体的な数字に関する質問をたくさんいただきました。弦打小学校の皆さん、ありがとうございました。

飲み終わった後のビン・缶・ペットボトル、食べ終わった後の容器包装プラスチック、ただリサイクルに出せば良いというわけではありません。

●飲み残し・食べ残しはありませんか？

●灰皿やゴミ箱代わりにしていませんか？

リサイクルに出す前に、チェックしてみましょう。

こうすることで、もう一度資源として生まれ変わることができます。



—限りある資源を未来へ—

